

麻 酔 科

1. 診療科の概要

麻酔科管理の手術症例は、特定機能病院の中でも総数・種類ともに全国トップレベルで、従って多くの麻酔手技を研修することが可能である。気管挿管をはじめとする気道確保下での全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、さらに各種神経ブロックを研修する。手術侵襲から患者のホメオスタシスを守るいわゆる侵襲制御学（＝麻酔科学）は、その基盤となる全身管理技術から、ペインクリニック、集中治療、さらに緩和医療とその活躍の場は広がっている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者：山蔭 道明

指導医：枝長 充隆、岩崎 創史、澤田 敦史、早水 憲吾、吉川 裕介、高橋 和伸、君塚 基修、立花 俊祐、茶木 友浩

3. 研修担当者

氏名：君塚 基修

連絡先：m.kimizuka@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

集合時刻：月 7時00分 / 月以外 7時30分

集合場所：臨床教育研究棟 4階 麻酔科医局

（手術室内での履き物を持参すること）

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。
<ショック、頭痛、めまい、意識障害・失神、胸痛、心停止、呼吸困難、嘔気・嘔吐、腹痛、熱傷・外傷、妊娠・出産、終末期の症候>
- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。
<脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）>

6. 研修内容

最初の1か月は指導医とのマンツーマン制により術前回診、手術麻酔管理、術後訪問などの周術期管理について研修する。後半は、引き続き手術臨床麻酔について研修を行う一方、希望によりペインクリニック研修の機会を与える。この間、研修医に対してはそれぞれのテーマが与えられ、ポートフォリオ形式によりその内容を提出する。

(1) カンファレンス

- ・ 毎週月曜日に行われるカンファレンスに参加し研修を深める。機会があれば、症例報告を行う。

7. 研修医の主な業務

手術麻酔、術前診察、術後診察

8. 研修スケジュール

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月	カンファ レンス	症例 検討					手術室・臨床麻酔研修						
火		症例 検討					手術室・臨床麻酔研修						
水		症例 検討					手術室・臨床麻酔研修						
木		症例 検討					手術室・臨床麻酔研修						
金		症例 検討					手術室・臨床麻酔研修						

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医資格

- ・ 麻酔科専門医

10. 協力研修施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）

JR 札幌病院、NTT 東日本札幌病院、江別市立病院、市立千歳市民病院、岩見沢市立総合病院、
滝川市立病院、小樽市立病院、日鋼記念病院、市立室蘭総合病院、製鉄記念室蘭病院、
苫小牧市立病院、王子総合病院、市立函館病院、北海道立江差病院、旭川赤十字病院、
市立旭川病院、北見赤十字病院、広域紋別病院、帯広協会病院、帯広厚生病院、市立釧路総合病院

- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）

北海道医療センター、北海道立子ども総合医療・療育センター、あかびら市立病院、
北海道立北見病院